【作り方説明書】

ショーツセットの型紙

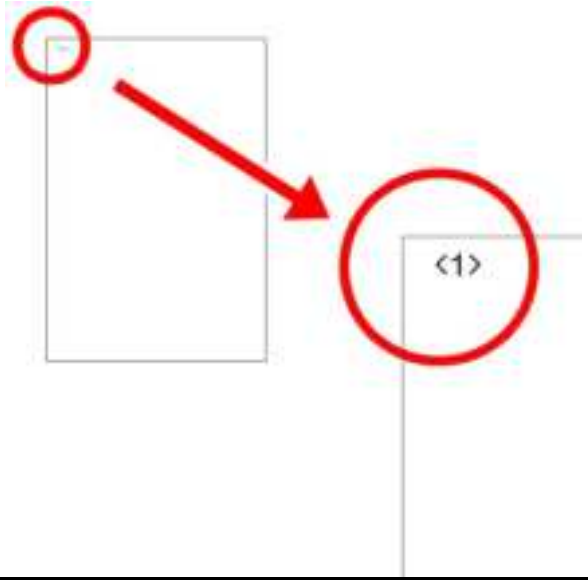
■詳細対応サイズ ・40cm ソフビ ・45cm ソフビ ・50cm ソフビ ・58cm ソフビ　M,L,LL (スマド未確認)	■難易度 イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.57mm~0.65mm	■用意するもの ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針 ・ストレッチレース
■手縫い可否 NG	■注意事項 布の伸び具合よっては、着せられない場合があります。 解れ難く、縦横に良く伸びる布を使用して下さい。
■布に書き写すパーツリスト ①ノーマルショーツ　1 枚→そのまま 1 枚 合計：1 枚　のパーツで構成 ①ノーマル T バック　1 枚→そのまま 1 枚 合計：1 枚　のパーツで構成 ①セクシーT バック　1 枚→そのまま 1 枚 合計：1 枚　のパーツで構成 ①フルカバーショーツ　1 枚→そのまま 1 枚 合計：1 枚　のパーツで構成	

■必要な布量参考数値

01.　型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載。
※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

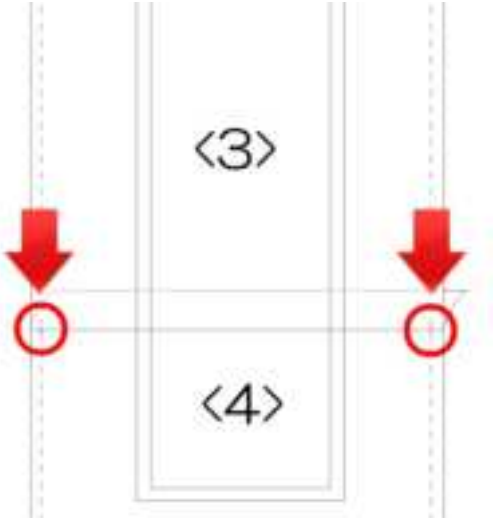


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。

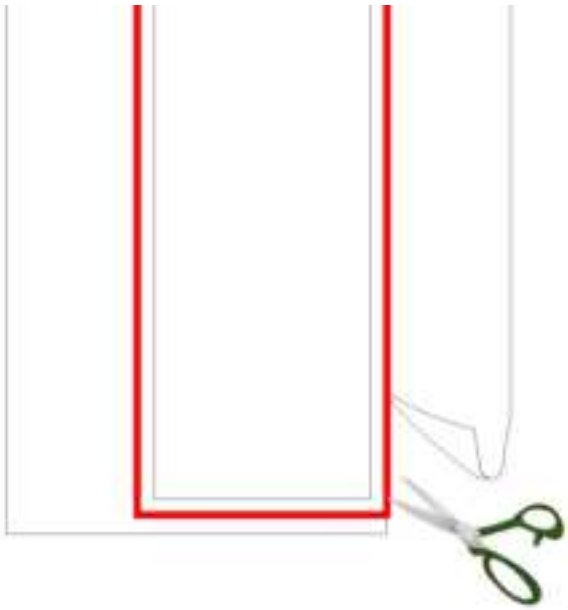
③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

④　<5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



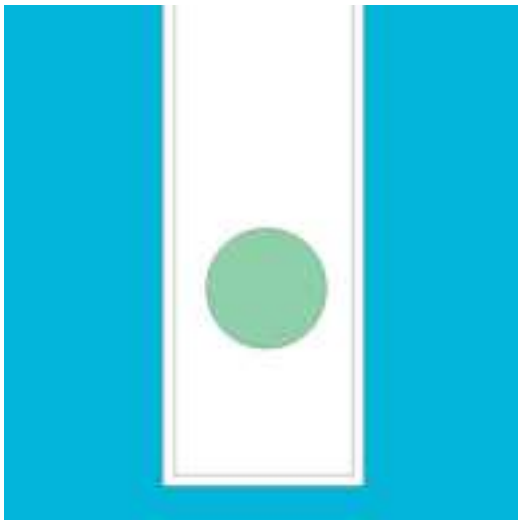
02. 型紙を切り取る。

02～07 の右図は全型紙共通で使用しています。



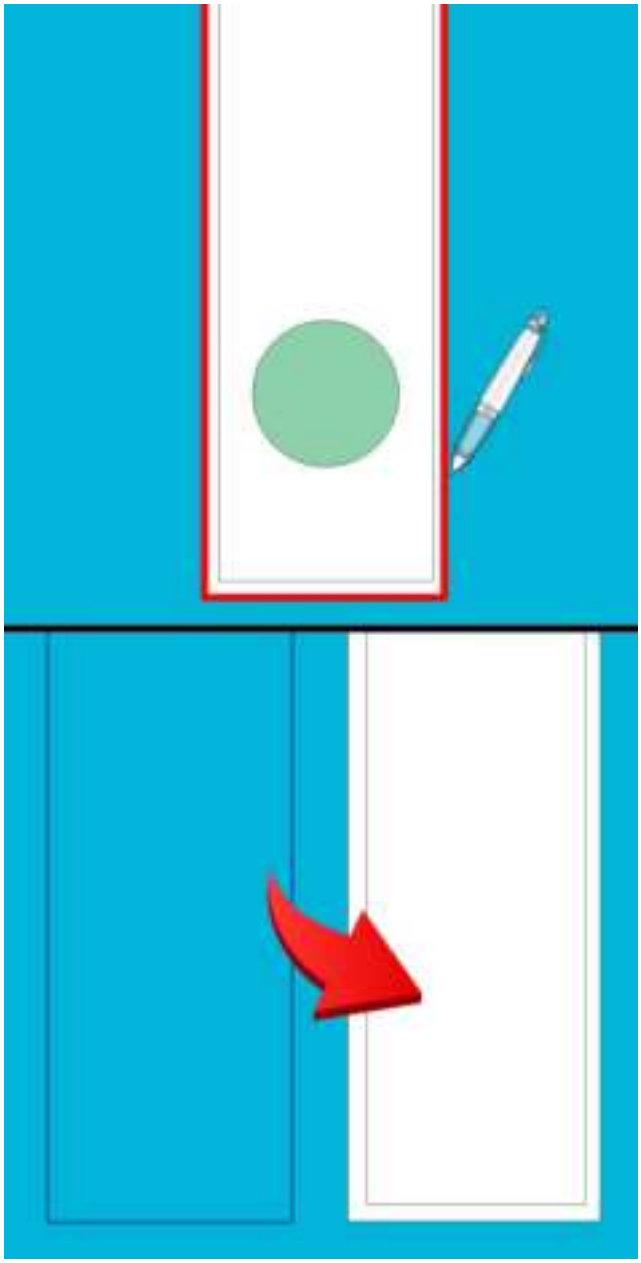
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。

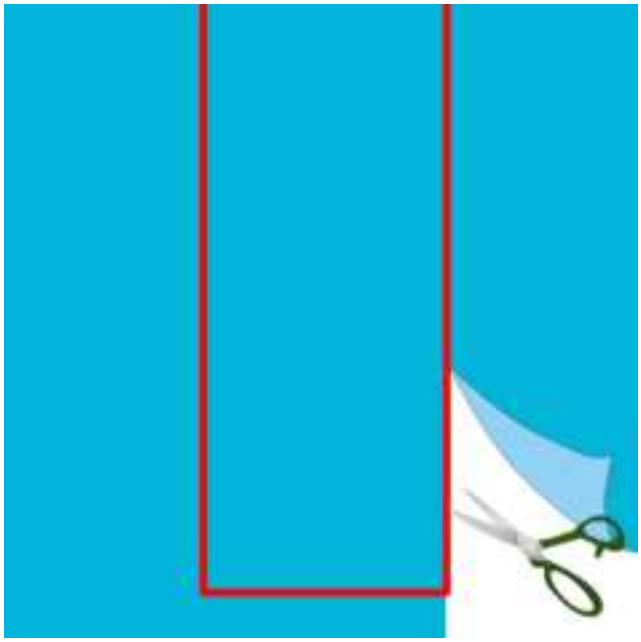


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は
一旦避ける。

※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー　水性チャコペン

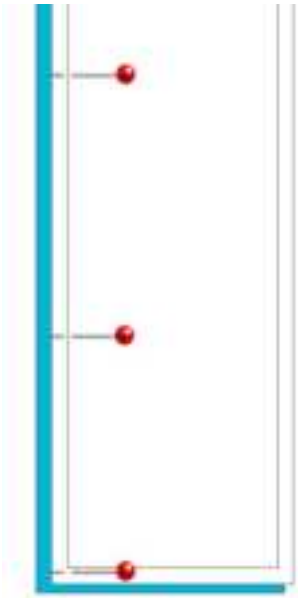


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。



07. “切りじつけ”をする。(①～⑧)

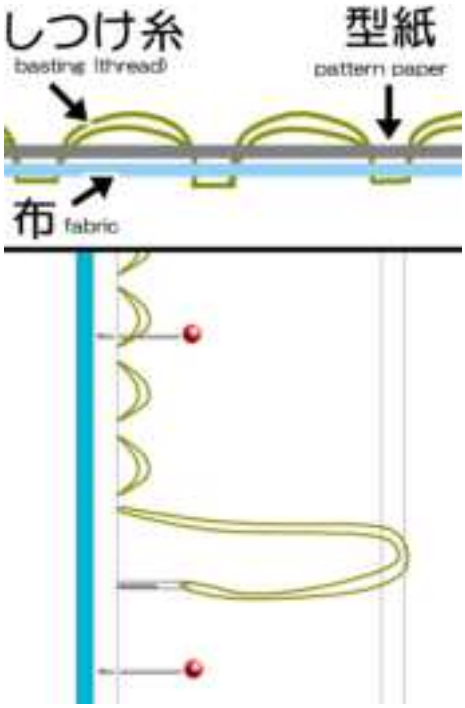
① しつけ糸を針に通し、糸が２本になる様にする。
〔 玉止めはしない。

② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

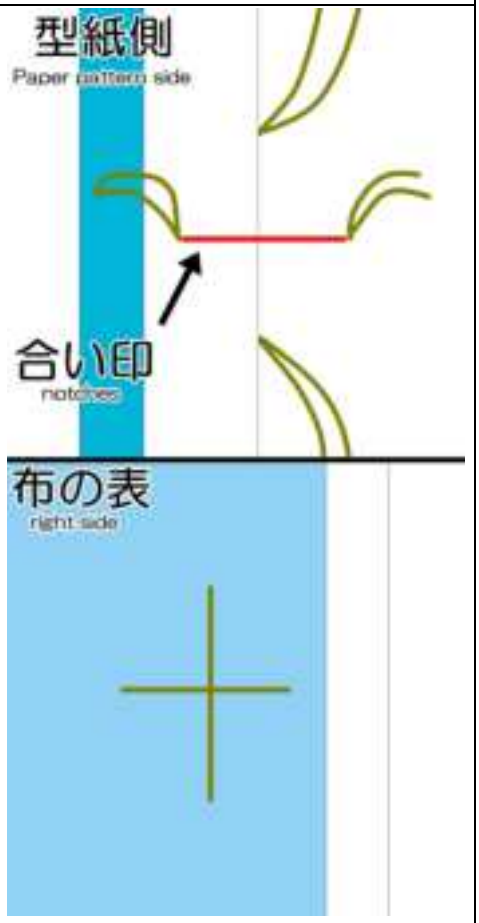
A.　型紙から刺す
B.　布を刺す
C.　0.3cm 程度すくうように縫う
D.　型紙を刺す
E.　糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔 上側はたるませて、下側の糸はたるませない。全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。



③ 角や合い印は下側(布側)から見て
　+　に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。	
⑤ まち針を抜く。	
⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。	
⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。 糸を抜き取らない様に注意。	

⑧ しつけ糸が抜けない様に、アイロンか指で糸を寝かせる。

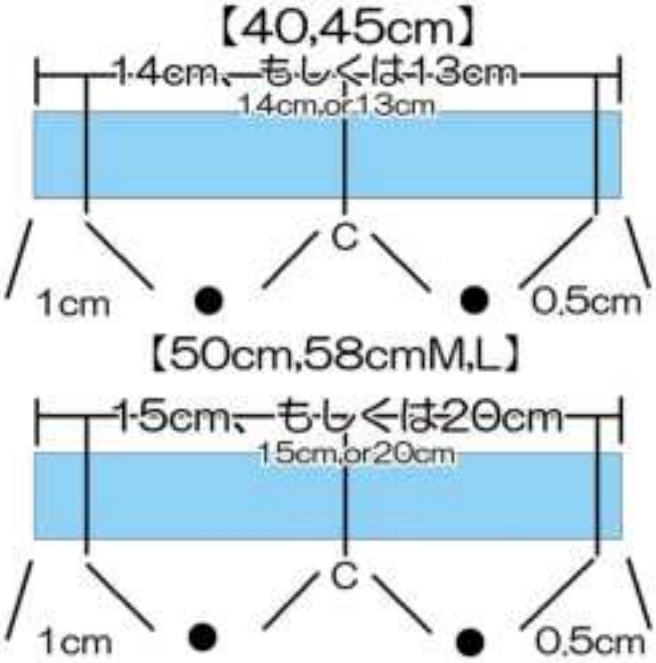
08. ミシンの針と糸をニット用に替える。

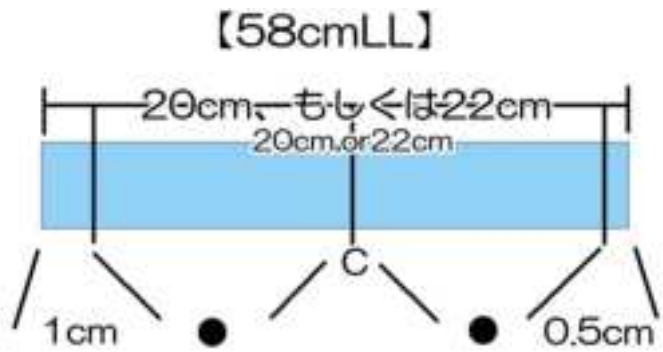
ノーマルショーツ用、ノーマルＴバック用、フルカバーショーツ用

09. ゴムに印を付ける。

ゴムの長さ：

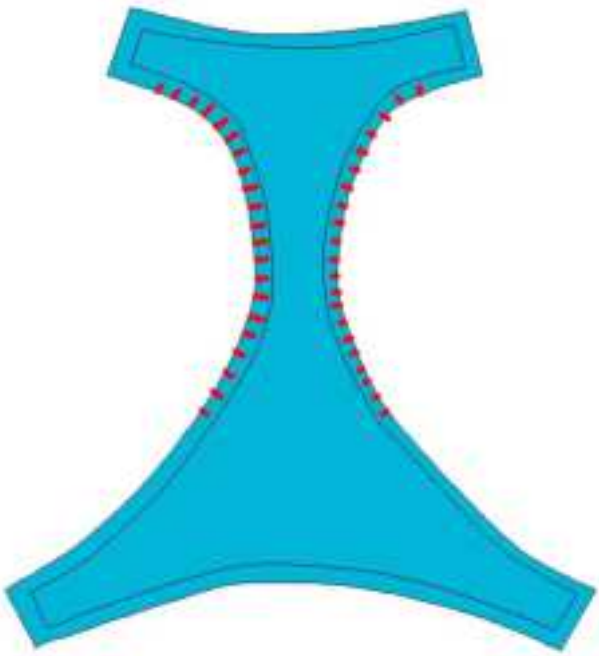
40,45cm　ノーマルショーツ　14cm
　　フルカバーショーツ　13cm
50cm/58cmM,L　ノーマルショーツ 15cm
　　ノーマルTバック　20cm
58cmLL　ノーマルショーツ　20cm
　　ノーマルTバック　22cm



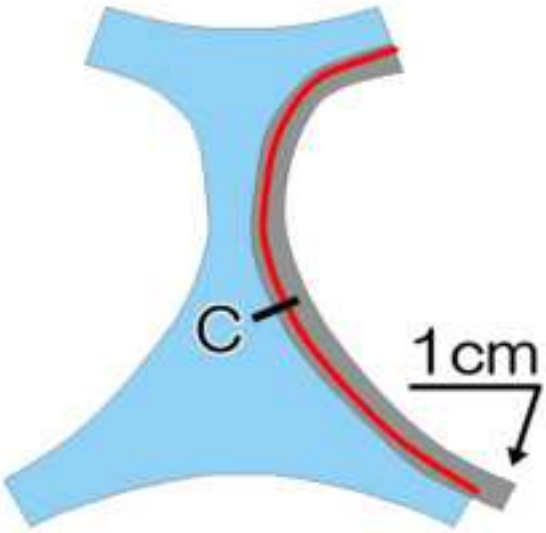


Tips：40,45cm 用フルカバーショーツの型紙の場合は下記工程を追加

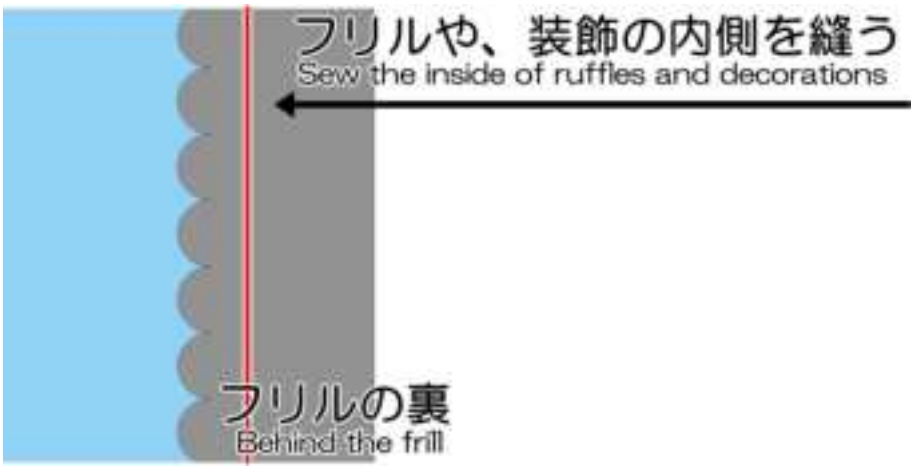
股のカーブに切り込みを入れる。



10. 表が内側になる様に股のカーブに、
ゴムを伸ばしながら縫いつける。



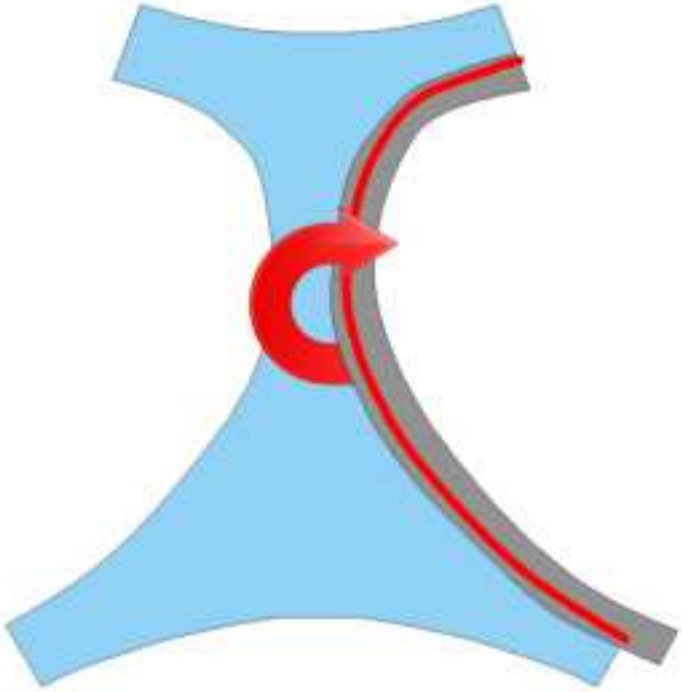
家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
型紙の”C”とゴムの”C”にあたる部分は、必ず合わせる。
“1cm”の部分は縫う際に”持ち手”として使う。
この持ち手は後程使う為切り落とさない。
縫い進めるとゴムの力で丸まって来て縫い辛くなる
為、大き目のクリップ等で縫い代を挟んで、
軽く重りを付けると良い。
※画像は生地下に敷いたセロファンを挟んでいます。
反対側も同じように縫う。

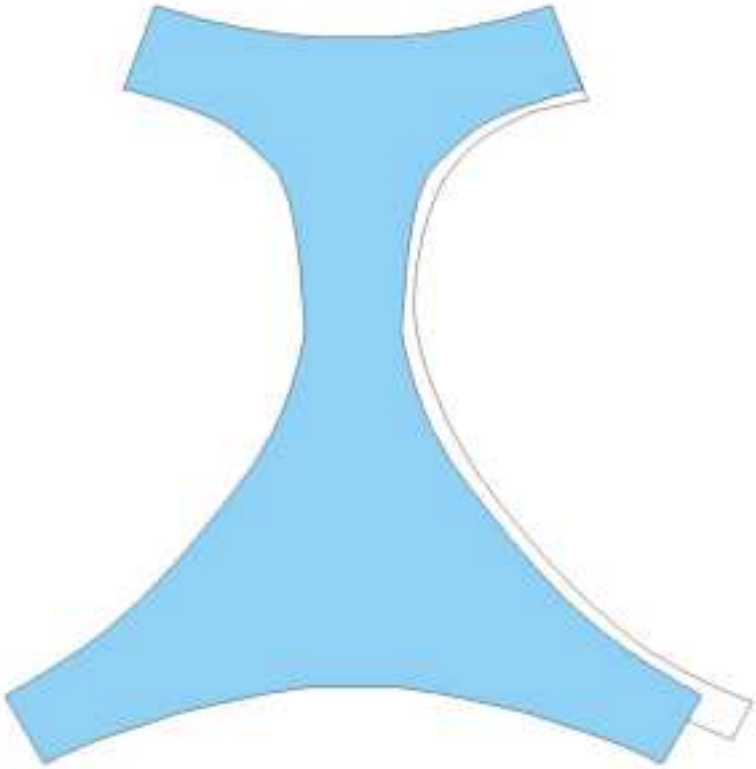


11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。

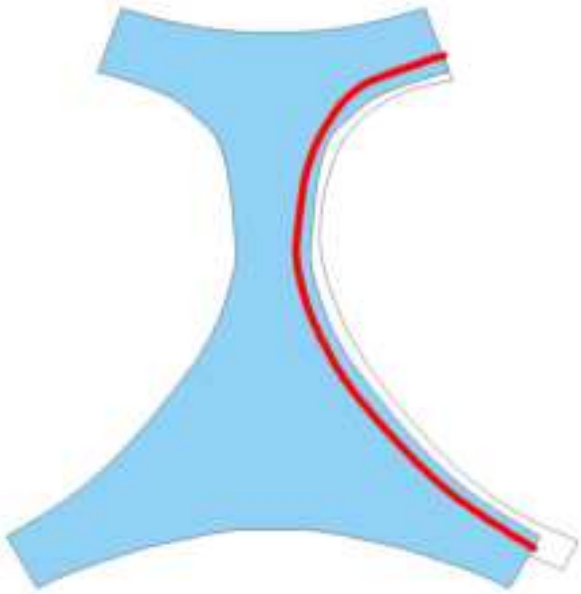
12. 縫い代とレース(装飾)を裏へ折る。
〔 反対側も同じように折る。





13. 生地を伸ばしながらジグザグミシンで縫う。

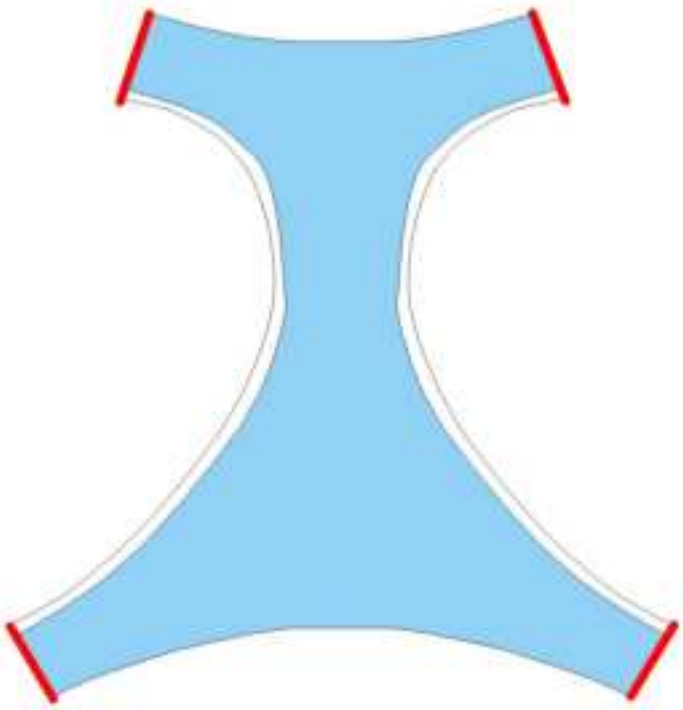
家庭用ミシンの縫い目を下図にする。
ふり幅は小、若しくは中がおすすめ。
反対側も同じように縫う。

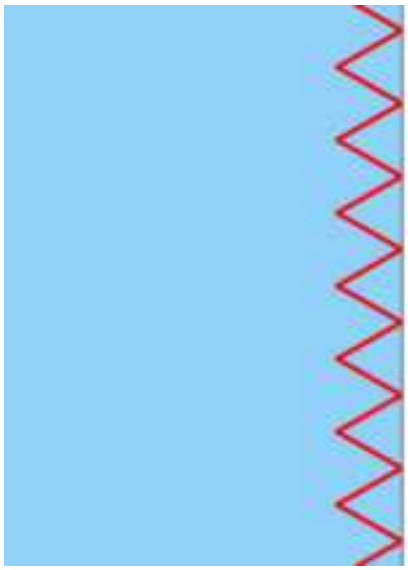


14. ゴムの余分を切る。

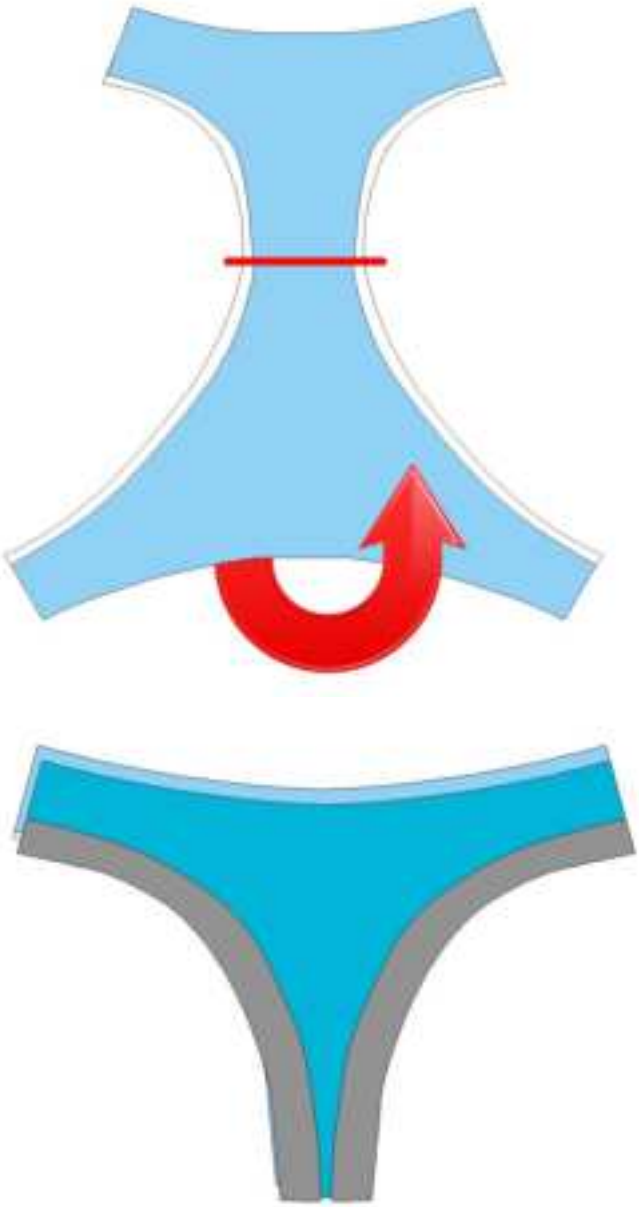
15. 脇にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

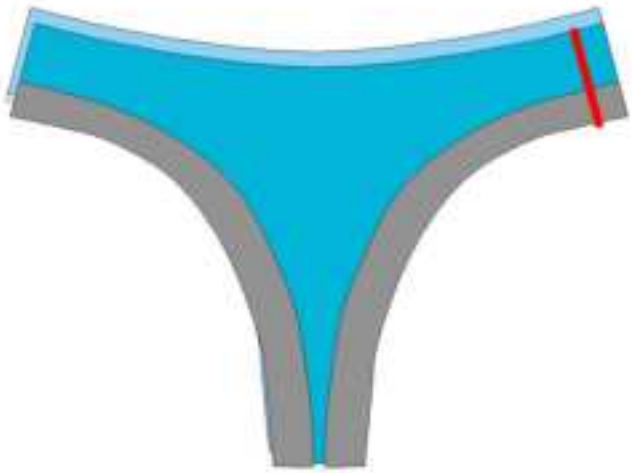




16. 表が内側になる様に、股の中心で折る。

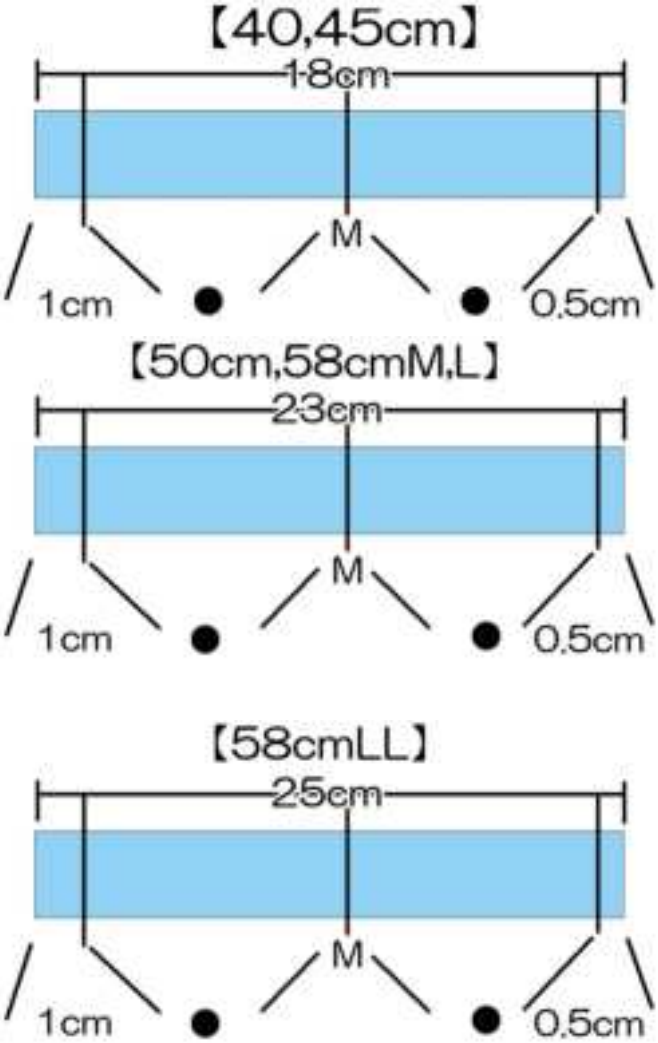


17. 脇を片方だけ縫う。



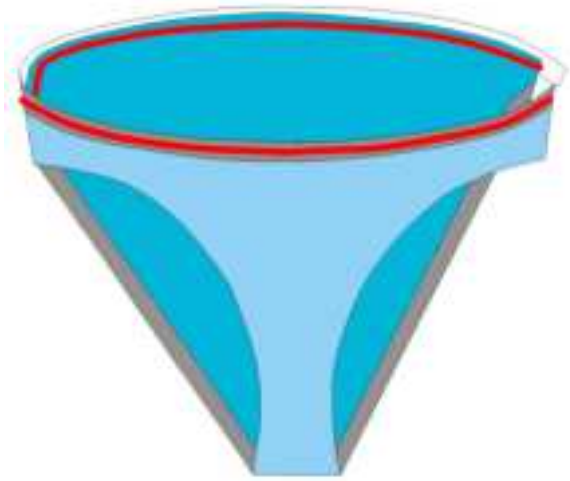
18. ゴムに印を付ける。

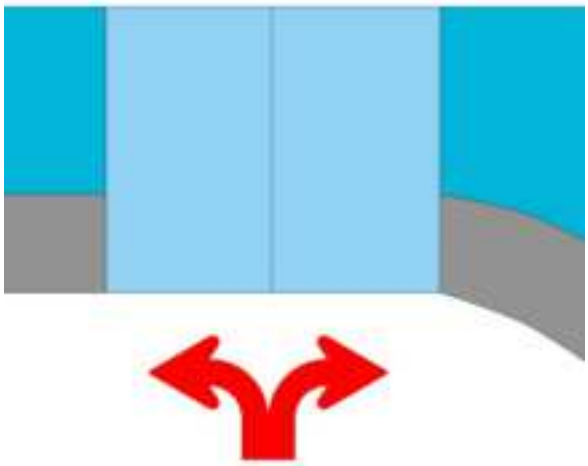
（ゴムの長さ：
40,45cm
ノーマルショーツ、
フルカバーショーツ　18cm
50cm /58cmM,L
ノーマルショーツ、
ノーマルTバック共通　23cm
58cmLL
ノーマルショーツ、
ノーマルTバック共通　25cm）



19. 表が内側になる様に、
ウエストにゴムを伸ばしながら縫いつける。

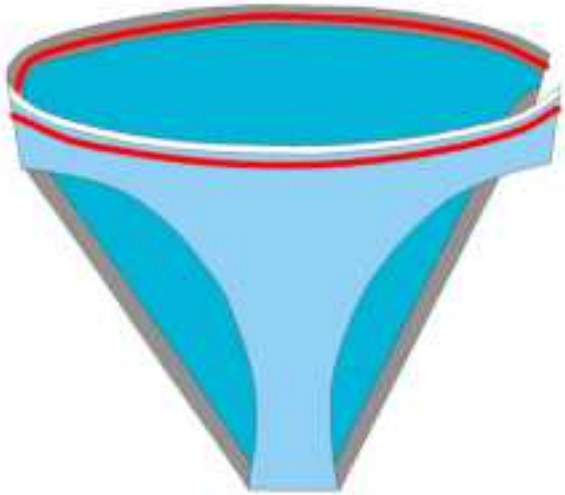
縫い代は開く。
型紙の”M”とゴムの”M”にあたる部分は、必ず合わせる。
“1cm”の部分は縫う際に”持ち手”として使う。
この持ち手は後程使う為切り落とさない。





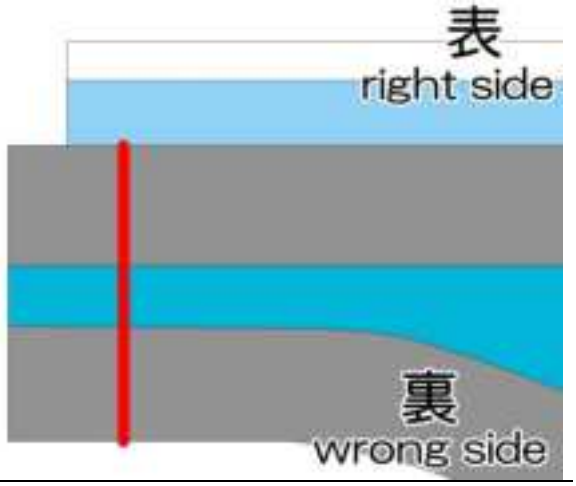
20. 縫い代を裏へ折る。

21. 伸ばしながらジグザグミシンで縫う。

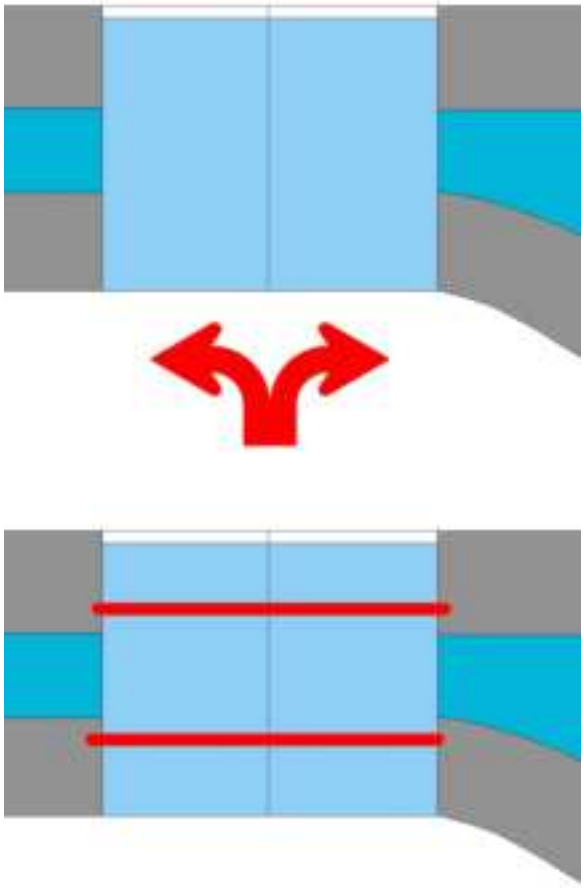


22. ゴムの余分を切る。

23. 脇を縫う。

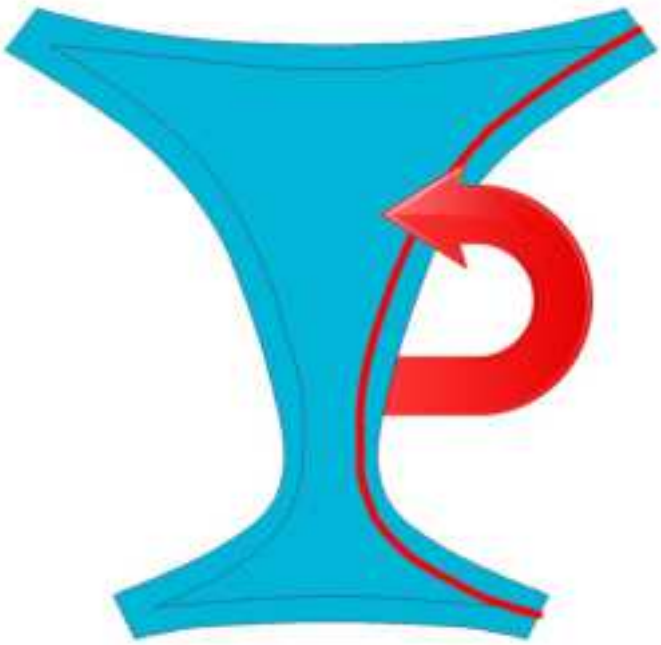


24. 縫い代を開いて、動かない様に縫う。
　縫い辛い場合は、手縫いでも可。



セクシーT バック用
デザインの関係上、生地が解れない事を前提としています。

01. 縫い代を折る。
　反対側も同じように折る。

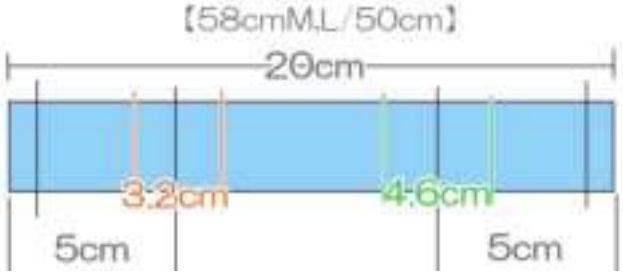


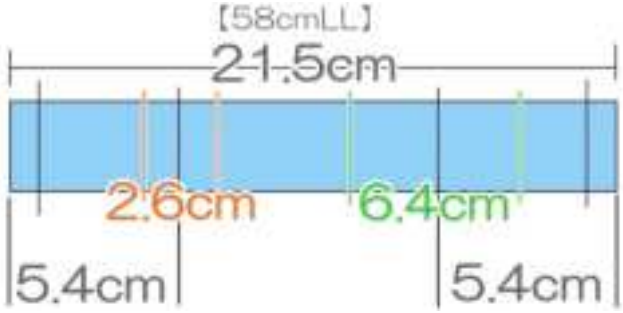
02. 縁を縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
反対側も同じように縫う。

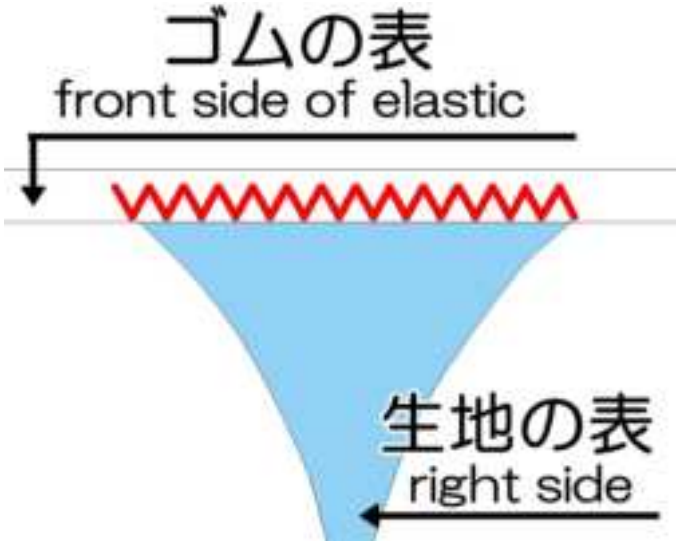
03. ゴムに印を付ける。

ゴムの長さ：
58cmM,L/50cm　20cm
58cmLL　21.5cm
黄緑色とオレンジ色の部分を、ゴムに書く。
黄緑色：Tバック前
オレンジ色：Tバック後

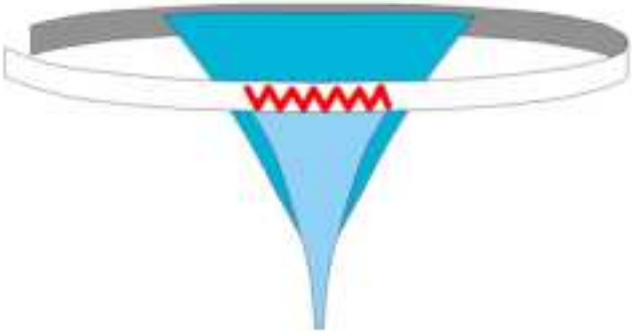




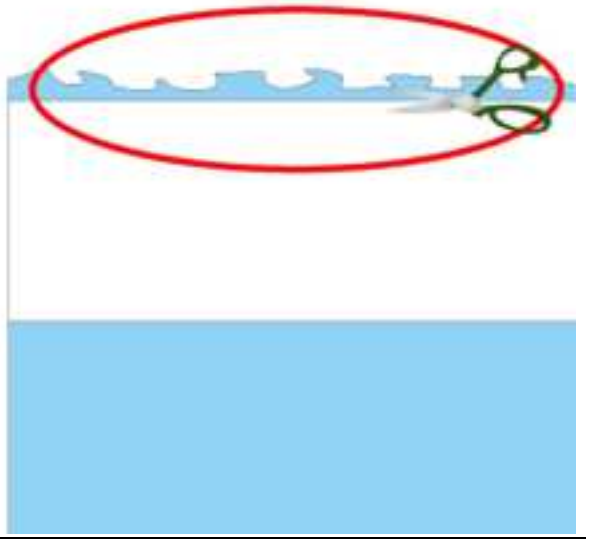
04. Tバック前を表にして、ゴムも表に合わせ
伸ばしながらジグザグミシンで縫う。



05. Tバック後も同じように縫う。
ねじって縫い付けない様に注意。



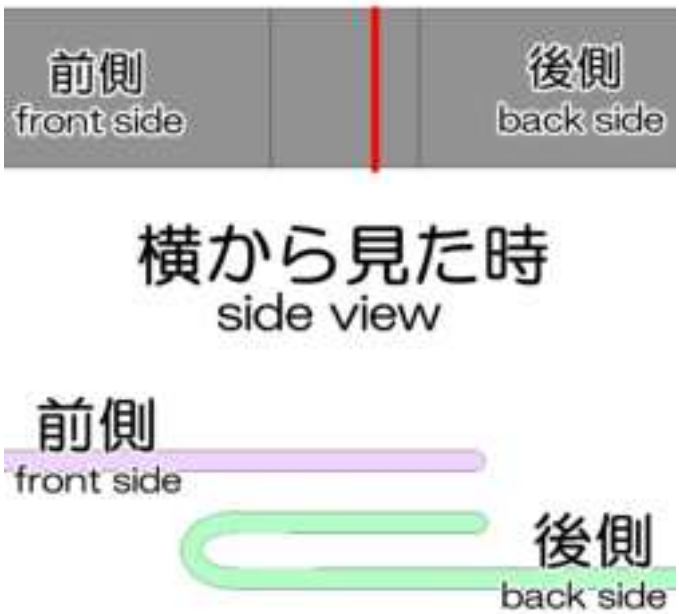
06. ゴムから生地が出ている場合は、カットする。



07. 裏にする。

08. ゴムの脇を縫う。

09. 縫い代を後側に倒して、動かない様に縫う。
縫い辛い場合は、手縫いでも可。



お疲れ様でした！